令和6年2月21日

大船渡湾内観測結果（No.11）

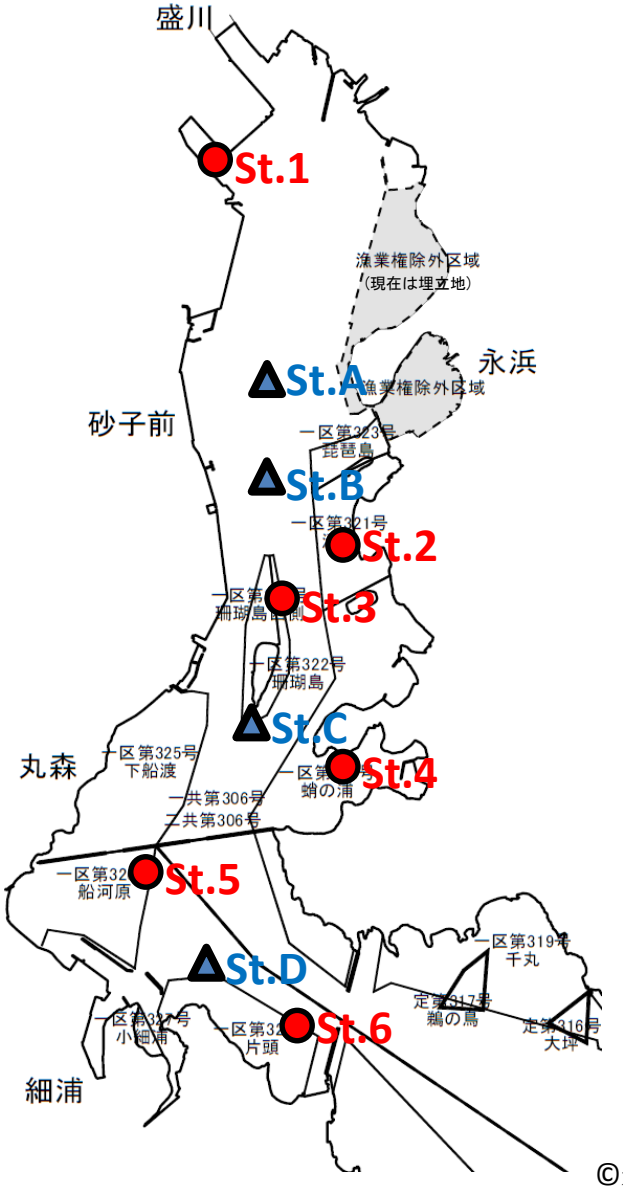
“今月の話題”
　湾内全域で水温が低下し、表層から底層までおおむね10～13℃台となったものの、過去の結果と比較すると、３～５℃程度高くなりました。

２月８日に実施した大船渡湾内観測結果をお知らせします。

　湾内全域の表層から底層までの水温は、12～14℃台だった前月より低下しており、おおむね10～13℃台となっていました。
　過去の結果（2013～2022年度の平均値）では、２月の水温が7～8℃台であり、３～５℃程度高いという結果になりました。

海域名：大船渡湾
調査担当：水産技術センター、大船渡市

観測点（St.）		1（湾奥）	2（清水）	3（珊瑚島）	4（蛸の浦）	5（船河原）	6（片頭）
観測年月日		令和6年2月8日					
観測時刻		11:48	12:00	11:30	11:15	11:04	10:52
水深（m）		9.9	24.8	28.5	17.8	27.8	39.2
透明度（m）		9.0	13.5	13.5	13.5	13.5	14.0
水色		5	4	4	5	4	3
水温（℃）	表層	12.1	10.6	10.6	9.6	10.0	10.3
	2.5m層	12.6	10.4	11.5	10.5	10.5	10.6
	10m層	－	12.7	12.7	12.5	12.8	13.4
	15m層	－	12.6	12.6	12.5	12.8	13.4
	底層	12.8	12.5	12.5	12.5	12.5	12.5
塩分	表層	33.69	32.80	32.43	32.68	32.70	32.89
	2.5m層	33.94	33.10	33.40	33.42	33.06	33.09
	10m層	－	34.14	34.18	34.12	34.20	34.30
	15m層	－	34.22	34.22	34.15	34.28	34.40
	底層	34.22	34.25	34.29	34.18	34.28	34.31
溶存酸素飽和度(%)	表層	92.7	96.5	96.1	96.3	96.3	96.0
	2.5m層	92.2	96.7	95.9	96.6	96.5	96.8
	10m層	－	94.3	94.1	95.2	97.3	96.2
	15m層	－	93.8	92.1	94.1	96.5	95.6
	底層	83.6	91.9	92.6	93.9	94.3	92.3

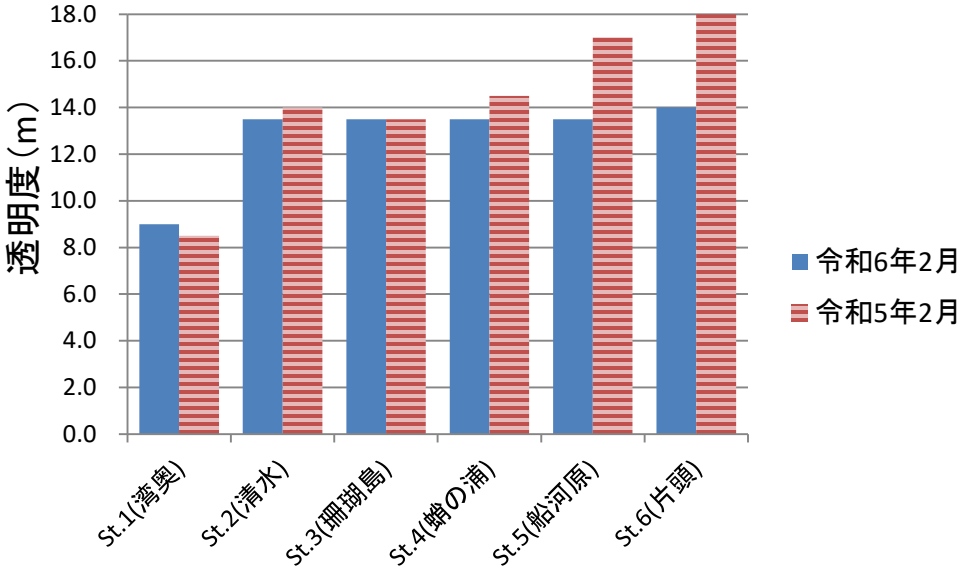


©岩手県（漁業権連絡図）

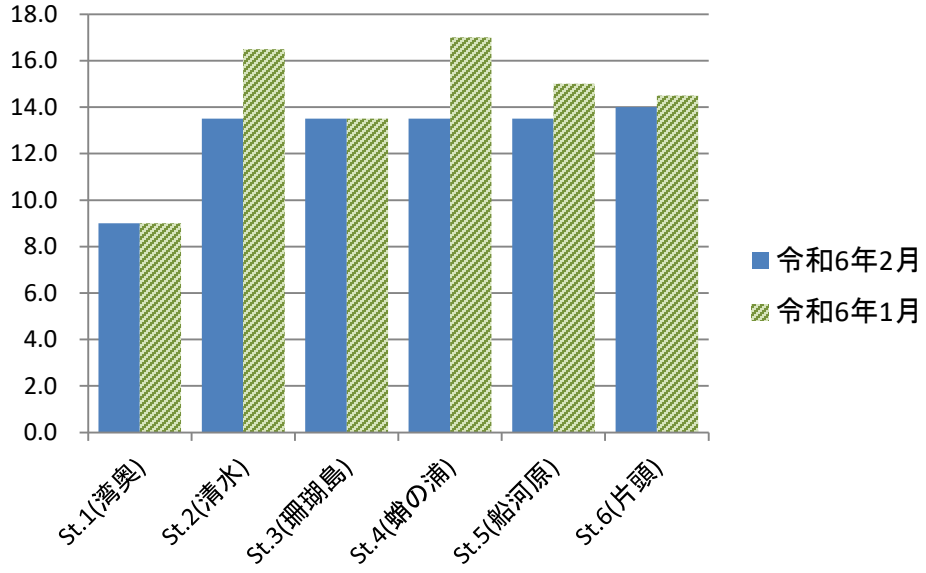
図1　大船渡湾調査定点図

※St.1からSt.6（○）において透明度の観測や表層0mから海底上1mの水質を観測した。
　St.AからSt.D（△）において表層0mから水深15mの水質を観測した。

前年同月との比較



前月との比較



・St.2、4、5及び6で前年同月より低い

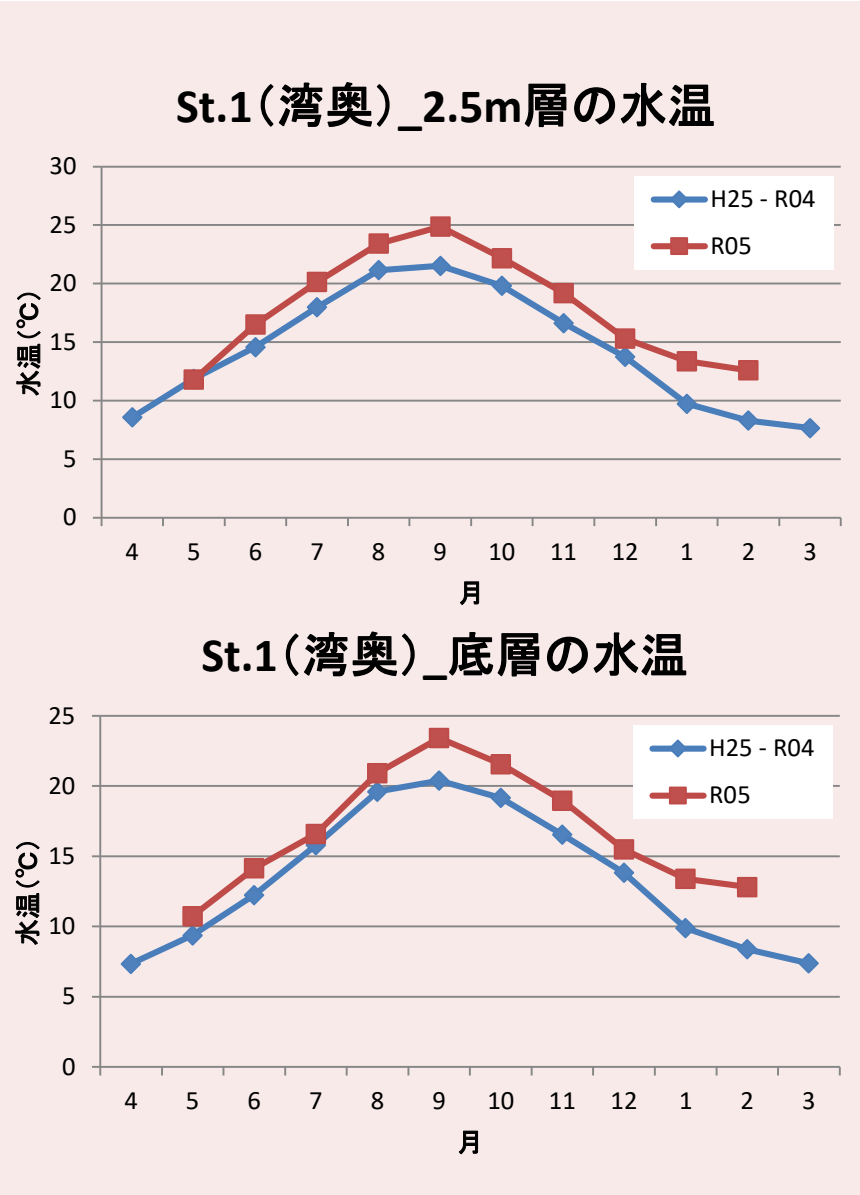
・St.１で前年同月より高い

・St.3で前月並み

・St.1及び3で前月並み

・St.2、4、5及び6で前月より低い

図2　透明度の比較（前年同月、前月）



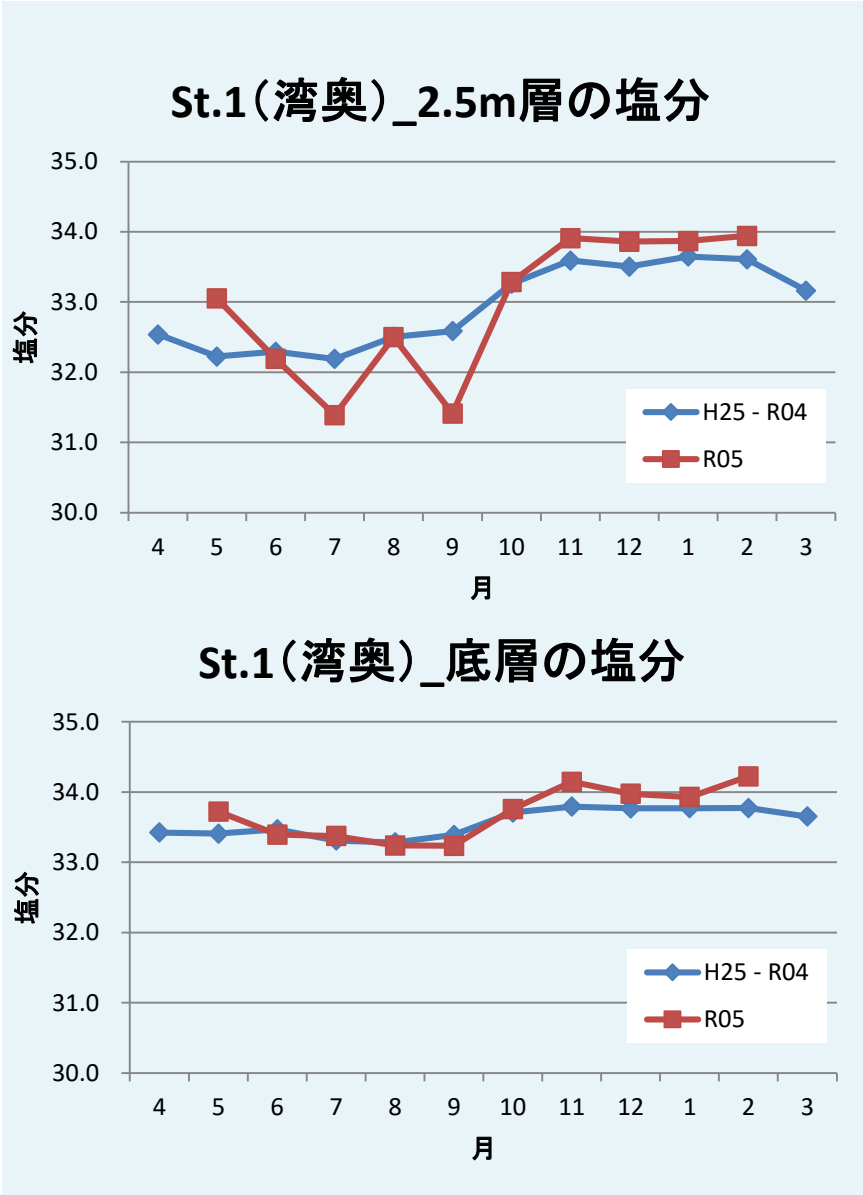


図3　St.1（湾奥）の水温及び塩分の推移

※St.1は水深10m未満

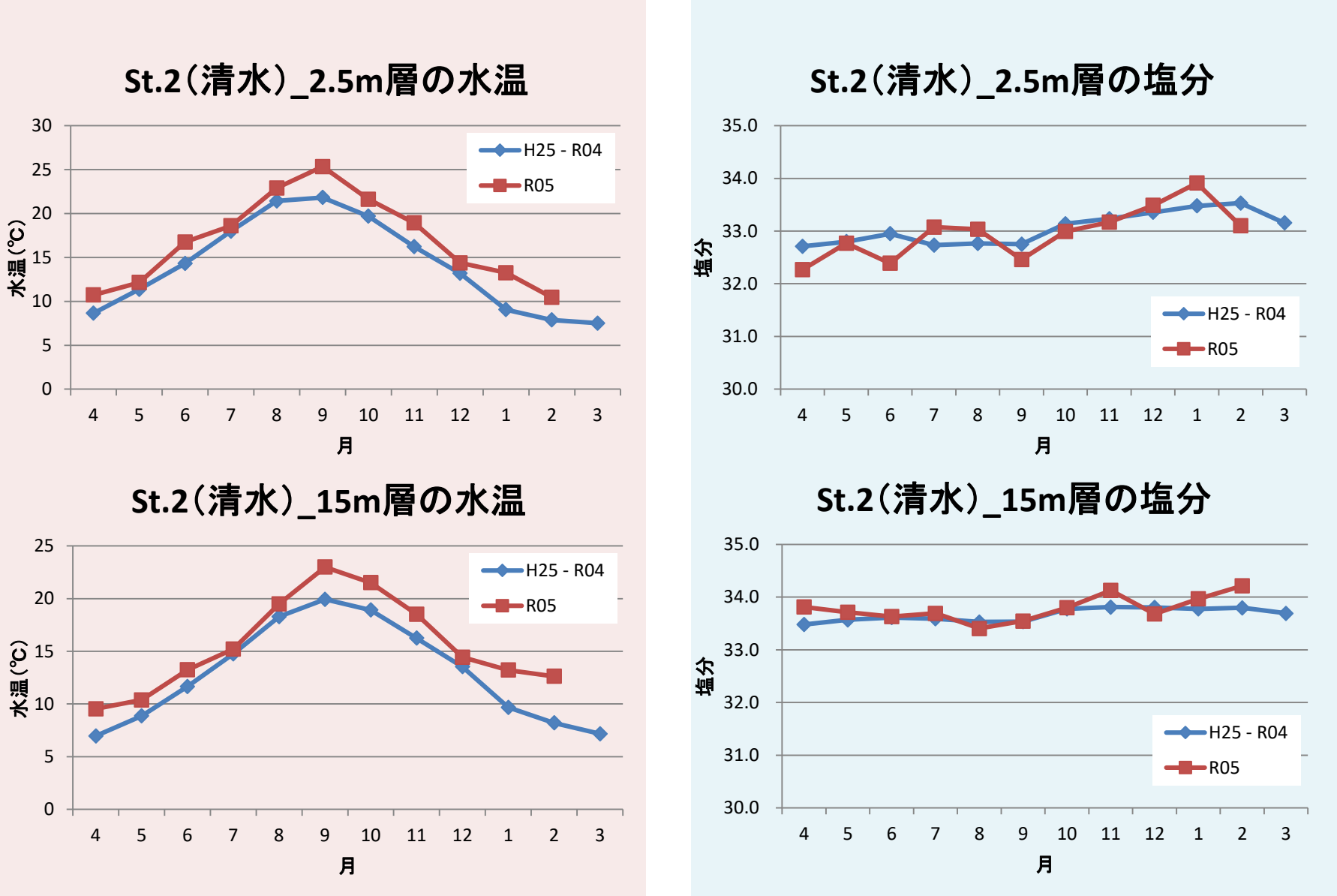
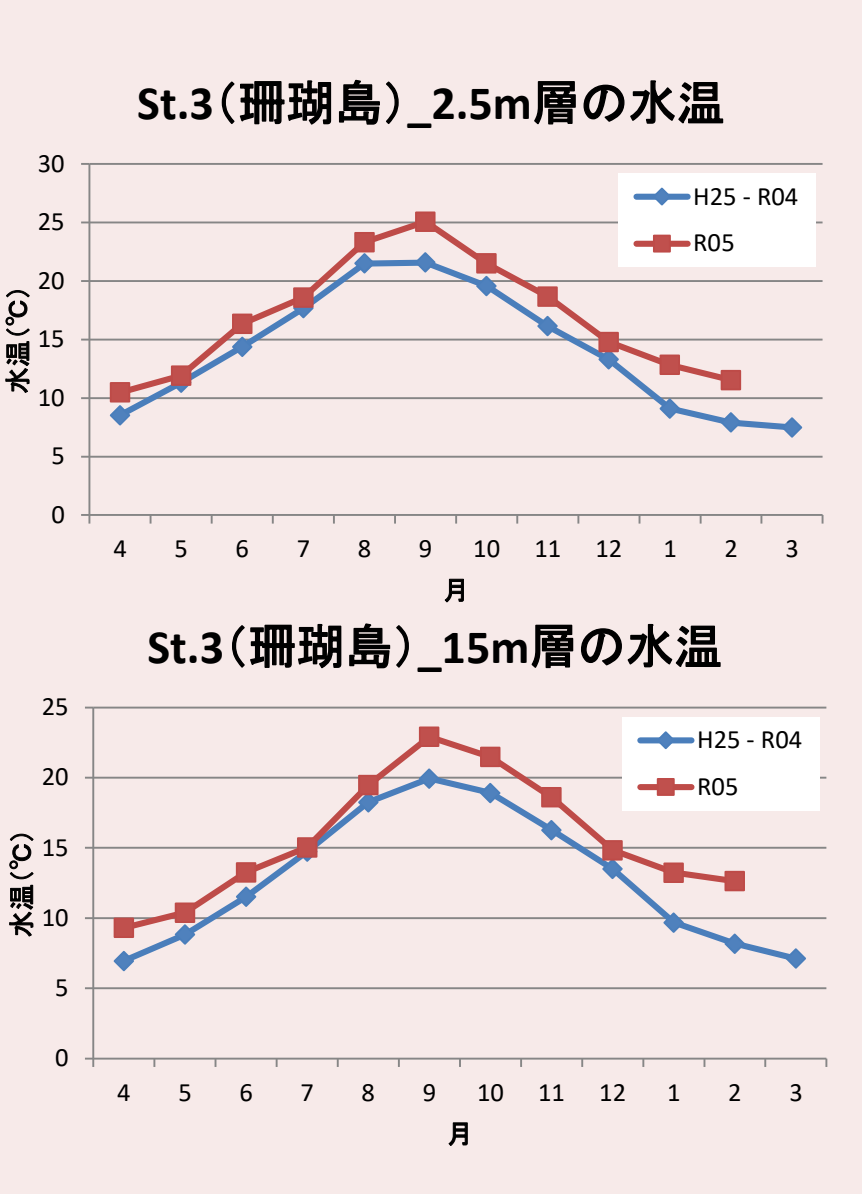


図4　St.2（清水）の水温及び塩分の推移



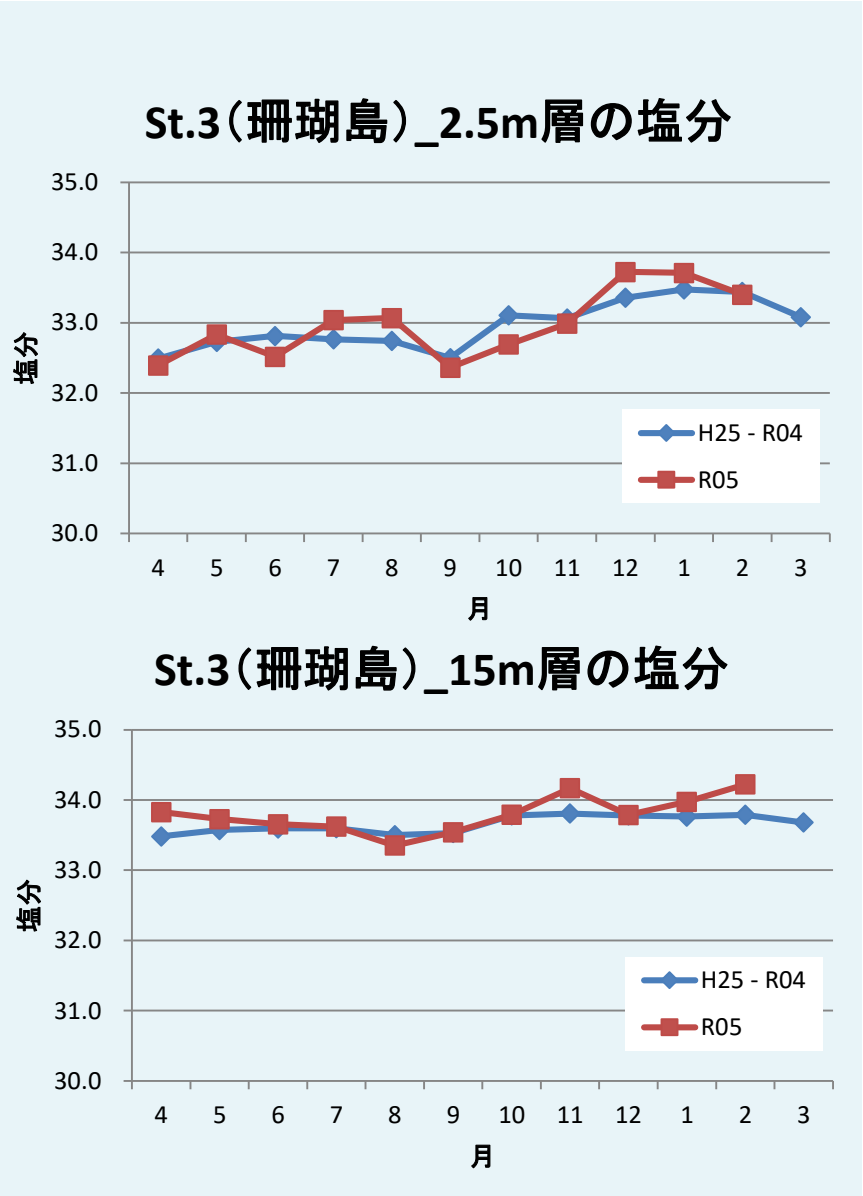
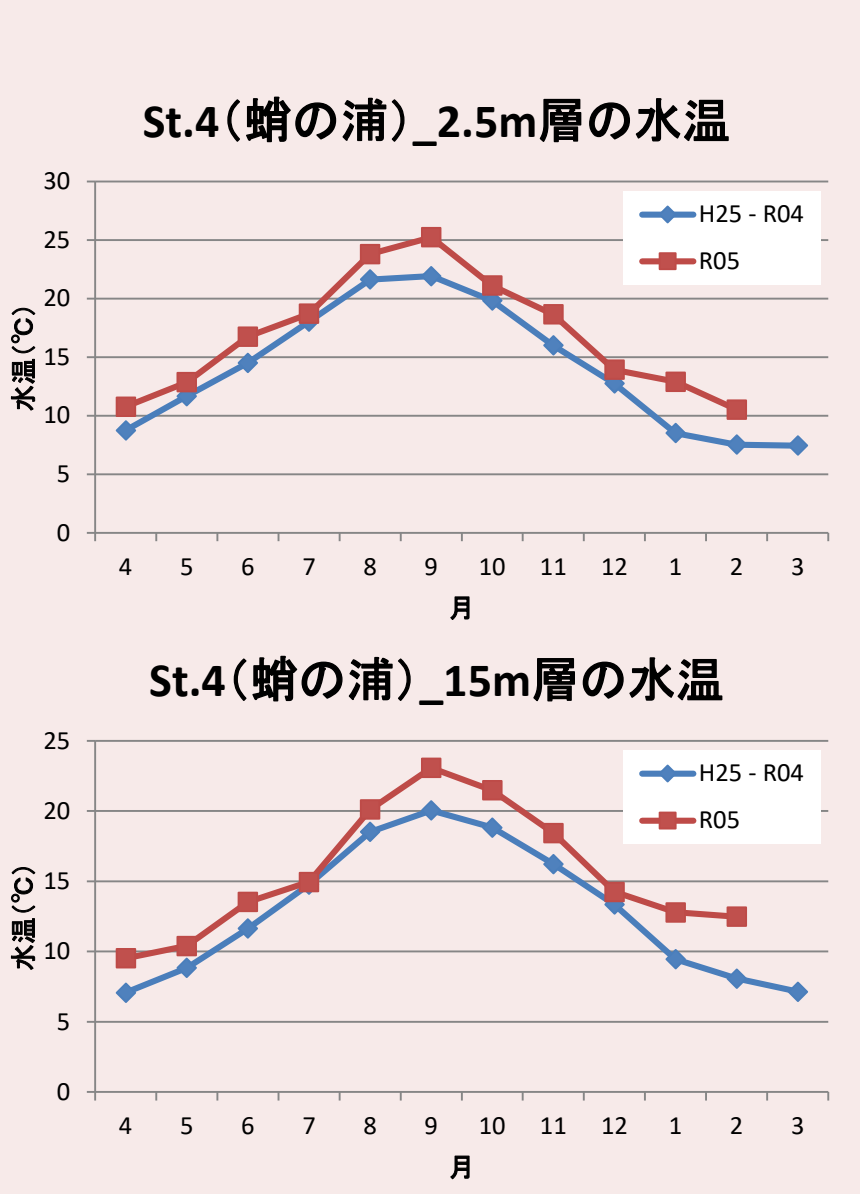


図5　St.3（珊瑚島）の水温及び塩分の推移



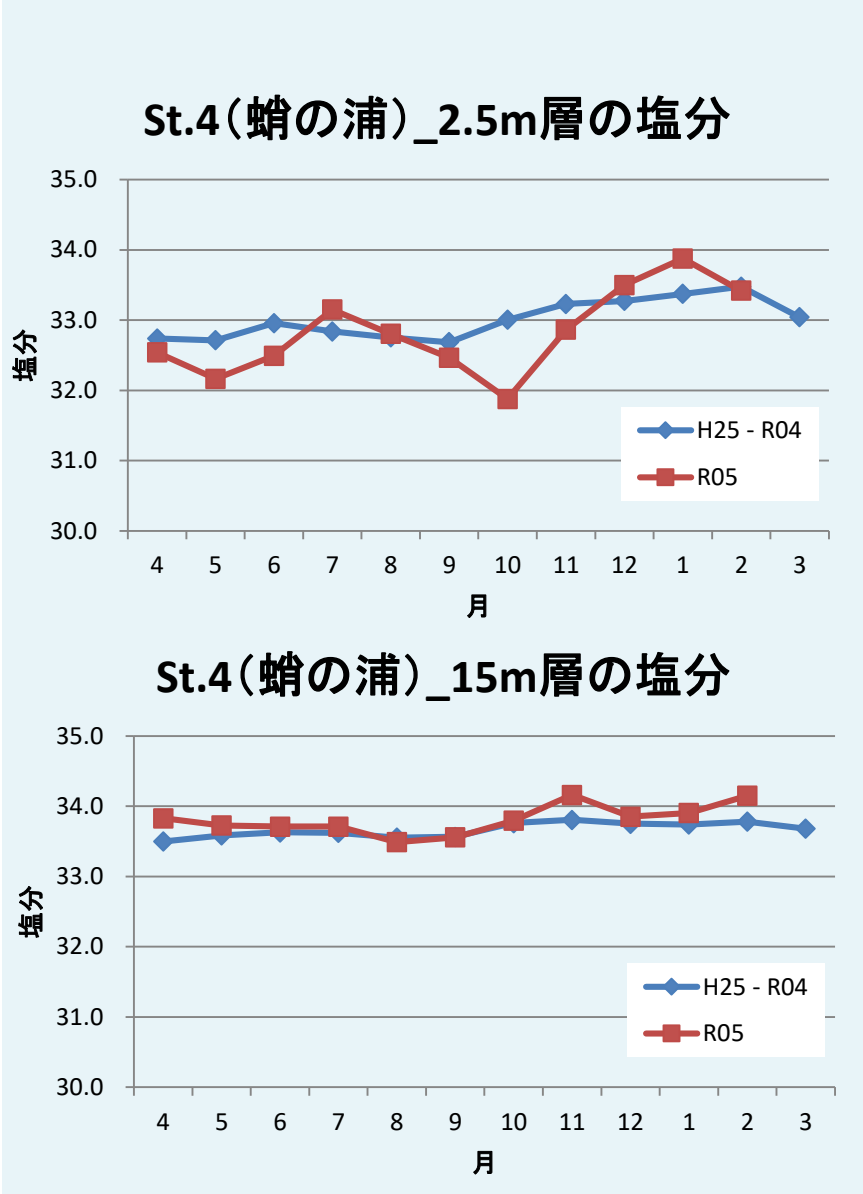


図6　St.4（蛸の浦）の水温及び塩分の推移

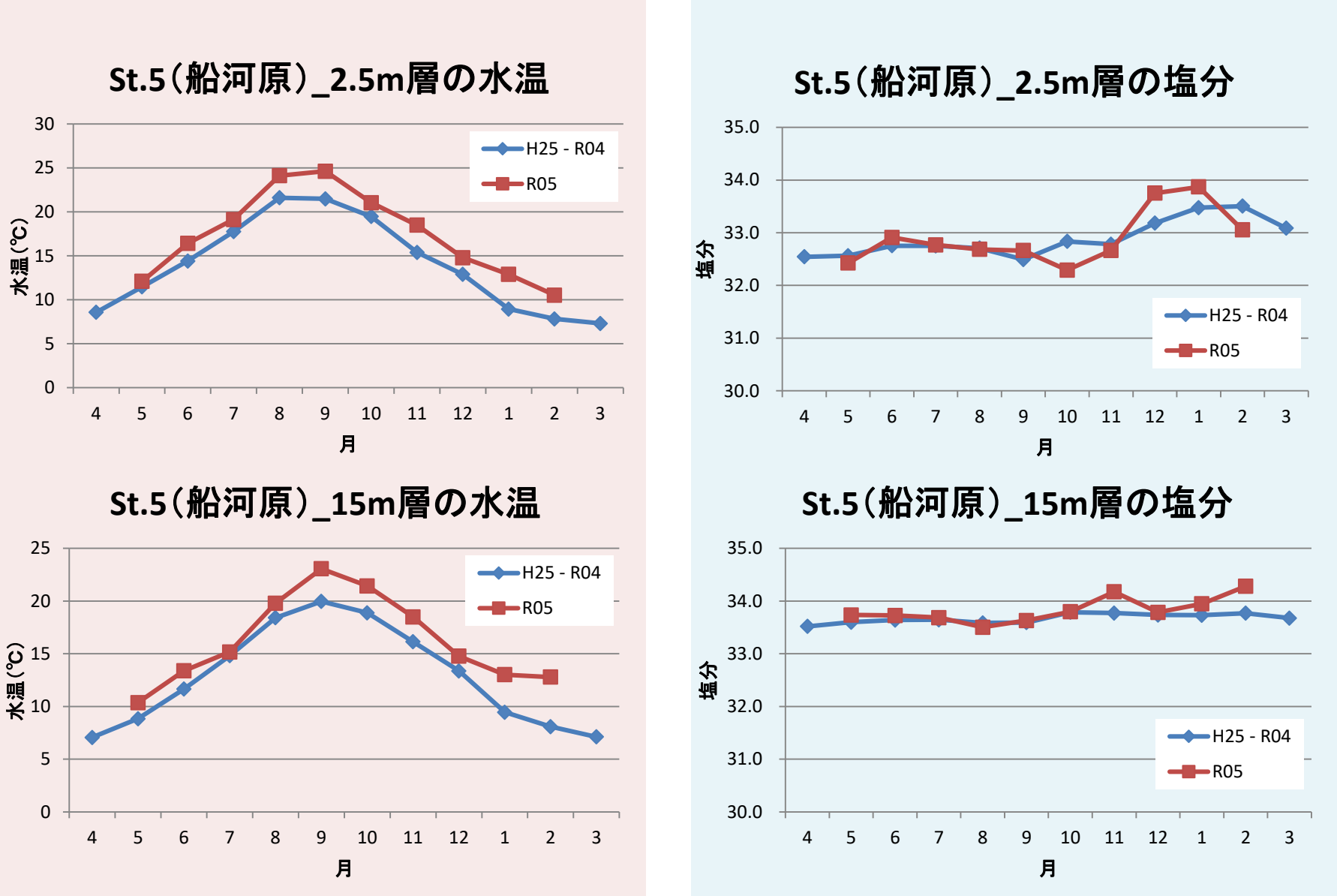
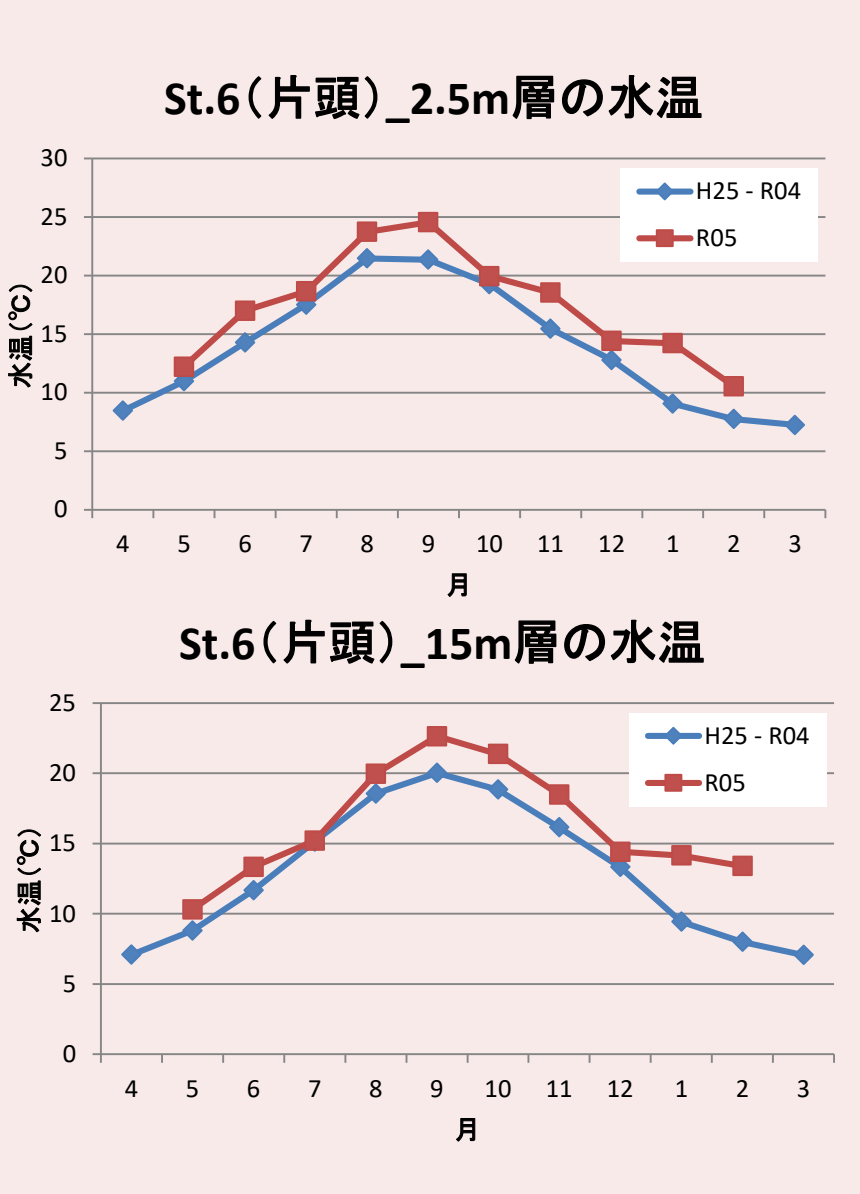


図7　St.5（船河原）の水温及び塩分の推移



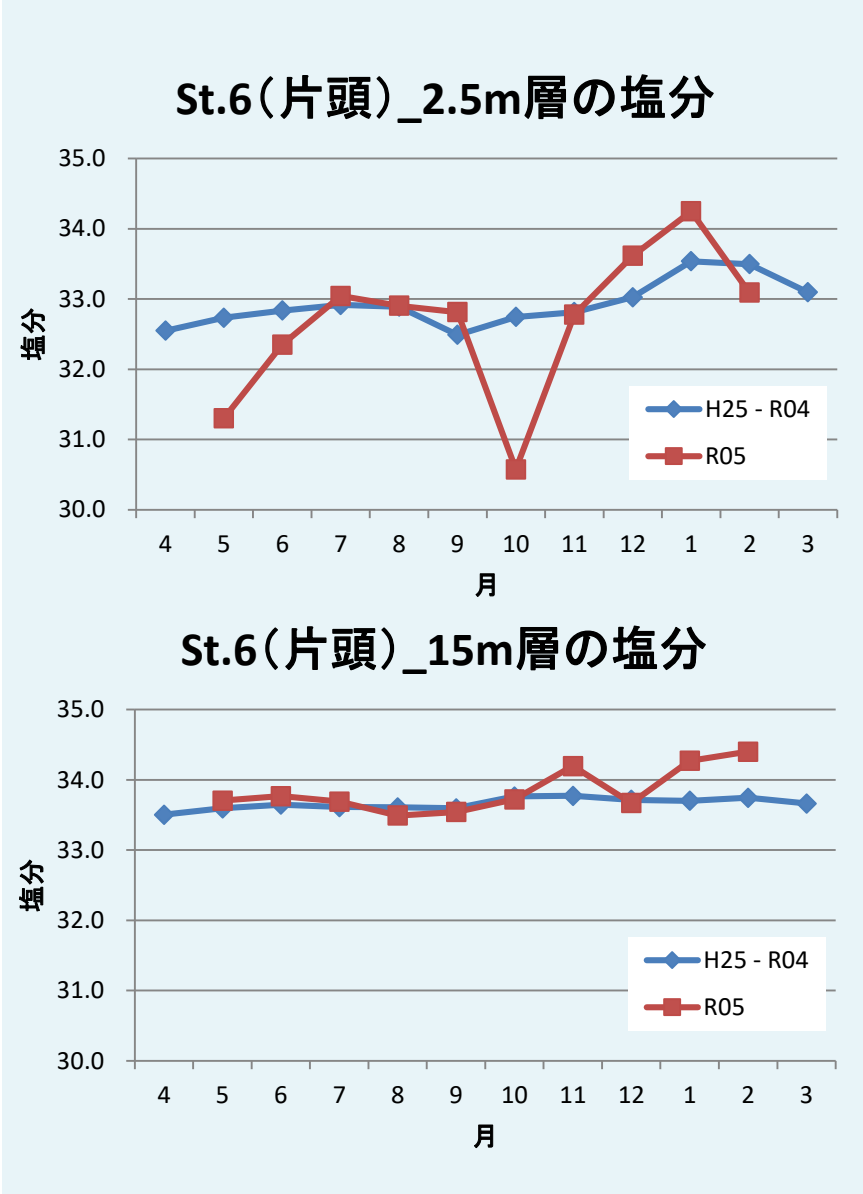


図8　St.6（片頭）の水温及び塩分の推移

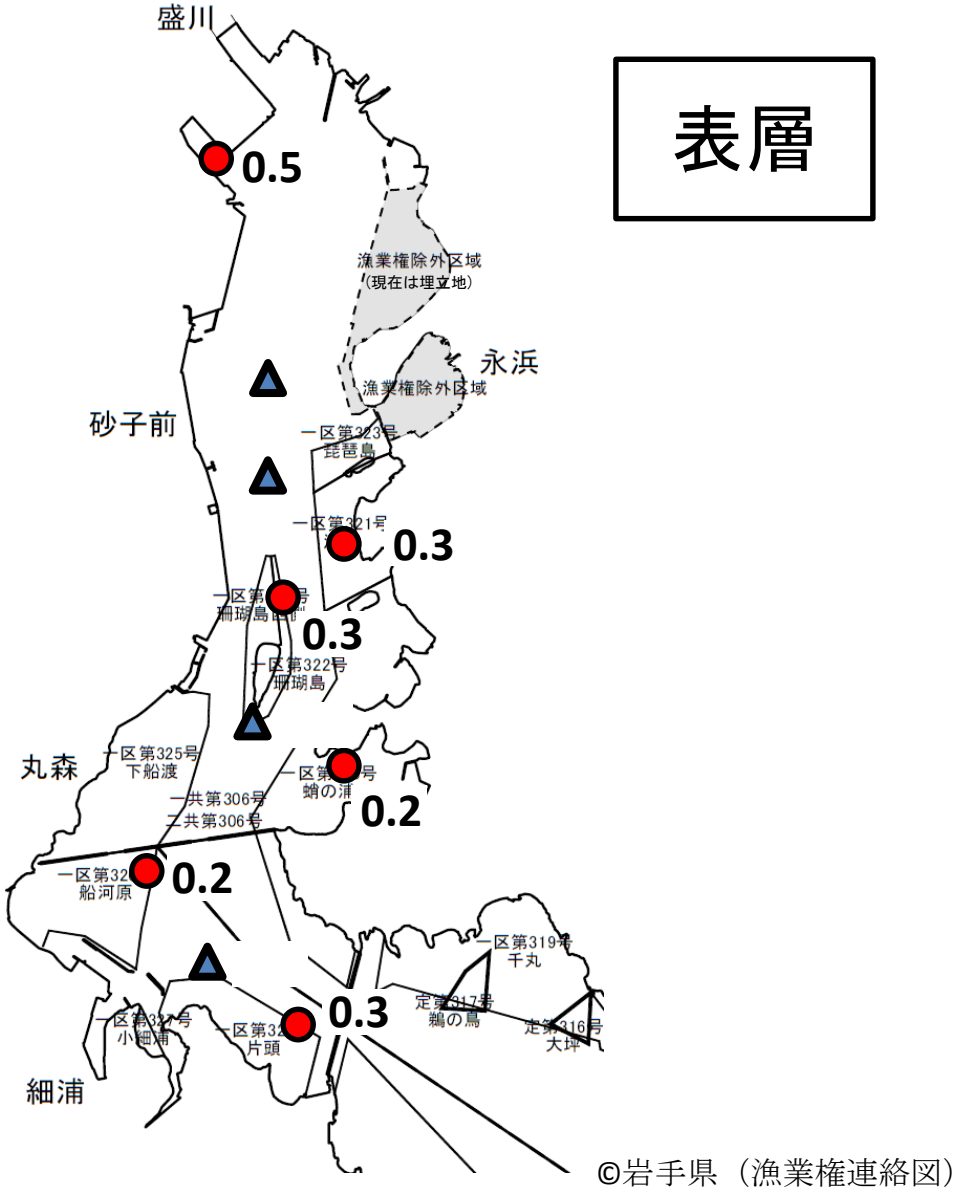
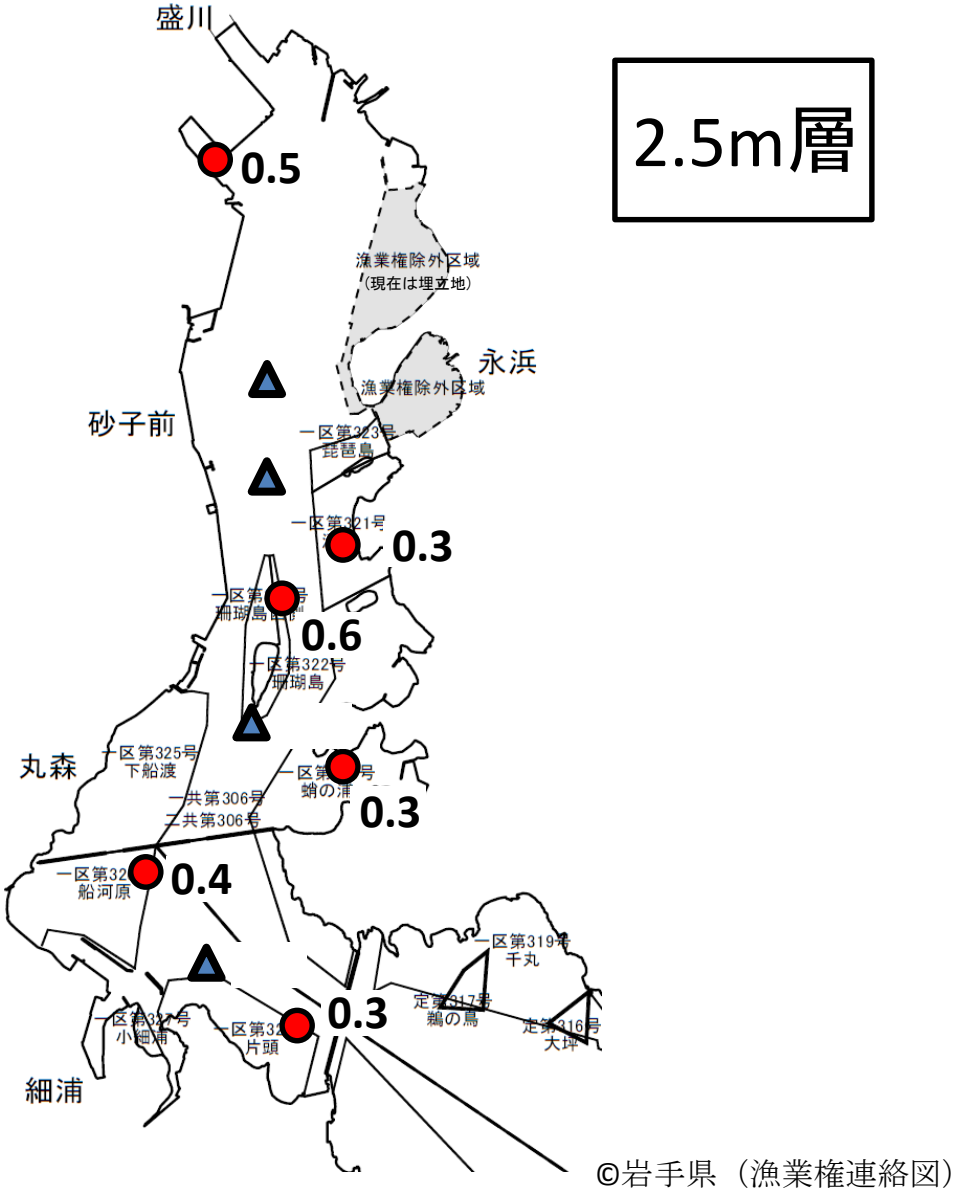


図9　表層のクロロフィル蛍光値

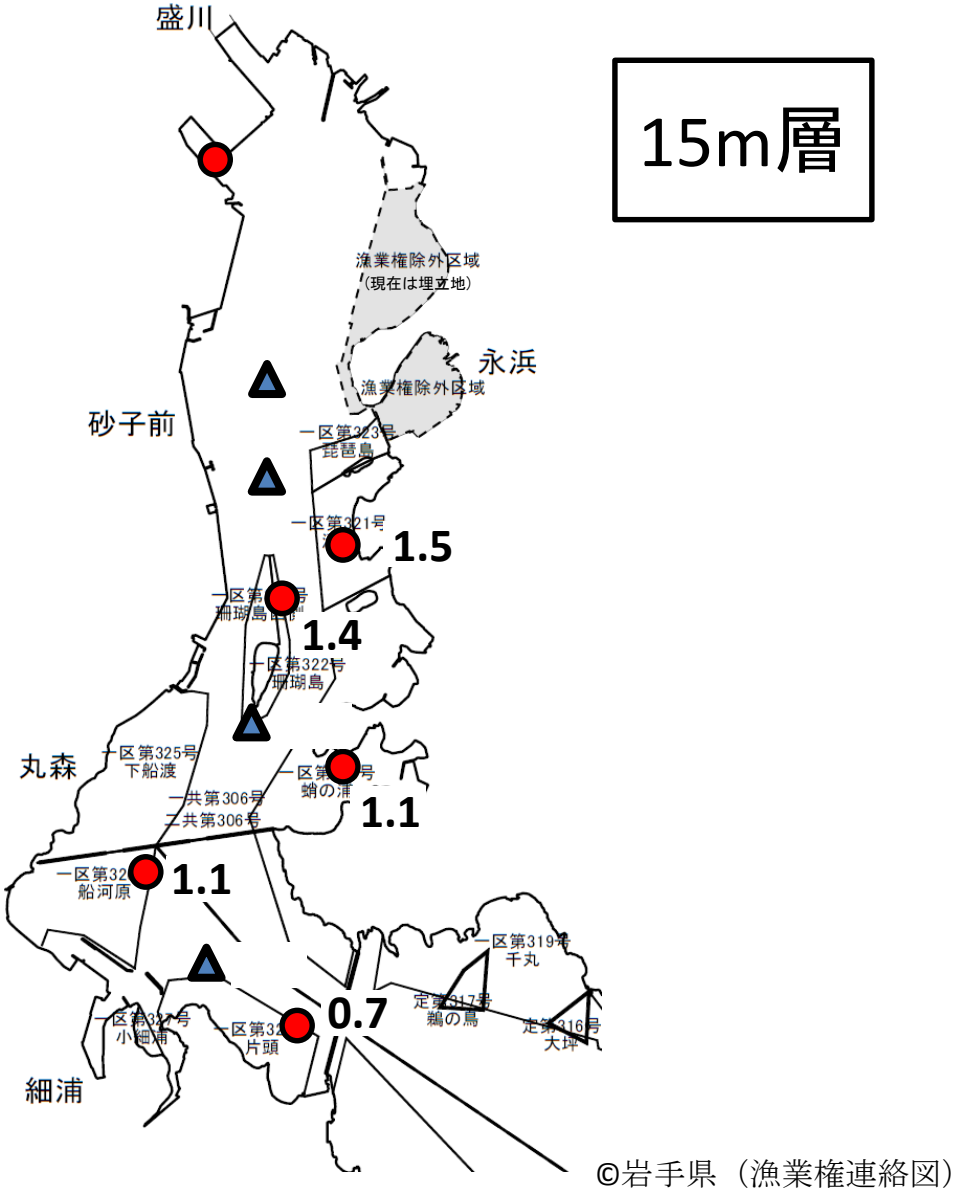
※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図10　2.5m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。



©岩手県（漁業権連絡図）

図11　15m層のクロロフィル蛍光値

※水質計で測定した値であり、正確な濃度ではありません。湾内の相対的な比較としてご利用ください（月をまたいでの比較はできません）。St.1は水深約8mでした。